

平成 22 年 11 月 12 日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目 1 番 28 号  
虎ノ門タワーズオフィス  
フィンテック グローバル株式会社  
代表取締役社長 玉井 信光  
(コード番号：8789 東証マザーズ)  
問合せ先：取締役 執行役員 経営管理部長  
鷲本 晴吾  
電話番号：(03) 5733-2121

### 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 11 月 12 日発表の平成 22 年 9 月期決算短信において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

当社グループは、平成 20 年 9 月期決算より重要な営業損失を計上しており、以降平成 22 年 9 月期第 3 四半期決算まで「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当該状況を解消すべく、当社グループでは収益基盤の確立とコスト削減、投融資額（注 1）の圧縮及び有利子負債（注 2）の削減等に取り組んで参りました。

- (1) 収益基盤の確立については、本業である投資銀行事業において、投資家からの資金を導引するディール（案件）の創出を強化するとともに、企業再生の財務アドバイザー業務、企業再生のスポンサー契約、不動産投資案件のリファイナンスアレンジなど、経済環境の変化に適合した事業を展開しております。また、海外投資家との共同投資案件などのプリンシパルファイナンスの一部再開にも至っております。
- (2) コスト削減については、一般経費、人件費を見直すことにより、大幅な削減を実行しております。
- (3) 投融資額に関しては、平成 22 年 9 月期末に 40 億円となっており、総資産額が過去ピークの平成 20 年 9 月期第 1 四半期末対比 637 億円と大幅な圧縮をしております。それに従い、有利子負債についても、平成 22 年 9 月期末に 24 億円となっており、平成 20 年 9 月期第 1 四半期末対比 638 億円と大幅な削減を実行しております。

以上のような諸施策の進展、並びに、有利子負債の削減が進んでいる状況下、今後の資産売却による手許流動性の確保の蓋然性等を勘案すると、当社グループの財務リスクは大幅に軽減されており当面の資金繰りに懸念はなくなっていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められないとの判断にいたしました。その為、本日公表の平成 22 年 9 月期決算短信の連結財務諸表及び財務諸表において当該注記の記載を解消することといたしました。

当社グループでは、今後も引続き業務内容の充実による業績の向上、財務基盤の健全化に努めてまいりますので、ご支援の程、何卒宜しくお願いいたします。

（注 1）投融資額・・・営業投資有価証券、営業貸付金、販売用不動産の合計から貸倒引当金額を減じた額

（注 2）有利子負債・・・連結貸借対照表に計上されている全ての有利子負債（ゼロクーポンの新株予約権付社債を含む）

以 上